

「挑戦」と「成長」
至学館大学
SHIGAKKAN UNIVERSITY

2026年度

**第3年次
編入学者選抜試験
募集要項**



■ アドミッション・ポリシー

至学館大学は、「健康力」、「知的視力」、「社会力」、「自己形成力」及び「当事者力」の5つの力を総合して応用・展開できる『人間力の形成』を教育理念としています。すなわち、「真理と正義にもとづく価値観と倫理観をもち、広い視野と科学的な知識にもとづいた自己実現と人々の幸福のために寄与・貢献できる人間力の形成」です。具体的には、『主体的な発想のもと、心身ともに健全でたくましく、「生きる力」、「行動力」、「仲間愛」に溢れ、そして諦めないで何ごとにも「チャレンジする精神」をもった学生をひとりでも多く育てる』ことを教育目標としています。本学では、このような教育理念と教育目標を理解した上で、常に主体的に学び、何事にも積極的にチャレンジしようとする探求心旺盛な人の入学を望んでいます。

〔健康科学部〕

健康科学部は、『豊かな教養とともに、各学科のそれぞれの分野における深い専門知識と実践力を身につけ、健全な心身に裏付けられた人間力をもって、人々の健康実現のために積極的に寄与・貢献できる人間の育成』を教育目標としています。そのため、各学科ではそれぞれの専門的な知識を修得するのみならず、豊富な実学的科目(実験、実習、実技、演習等)を置いて、できるだけ実践力を身につけるための特色ある教育を展開しています。健康科学部では、将来、人々の健康実現のために積極的に寄与・貢献したいという強い志のある人の入学を望んでいます。学部で学ぶにあたっては、高等学校で文系・理系を問わず多くの科目を広く学び、履修したすべての教科の基礎学力を身につけておくことを望みます。

■ 栄養科学科(管理栄養士養成課程)〈入学定員/80名〉

栄養科学科は、『健康づくりのための栄養指導者として豊かな人間性と栄養・運動に関する高度な専門知識を身につけ、人々の健康実現に寄与・貢献できる人間力の育成』を教育目標としています。

また、本学科は、栄養士・管理栄養士養成課程並びに栄養教諭免許の取得課程を有するとともに、健康運動実践指導者・健康運動指導士の養成校でもあります。将来、病院、福祉施設、学校および企業(スポーツ関連施設を含む)等において健康指導を行うための高度な専門知識と実践力を養い、特色ある教育を展開しています。

そのため栄養科学科では、強い目的意識のもとに主体的に学び、次のような志のある人を求めています。

1. 栄養科学に関する高度な専門知識および技術に関心をもち、人々の健康づくりに寄与・貢献できる管理栄養士を目指す人。
2. 栄養と運動・スポーツに関する専門知識および技術に関心をもち、将来、スポーツチームやスポーツクラブなどの運動・スポーツ分野での活躍を目指す人。
3. 疾病の予防・治療と栄養に関する専門知識および技術に関心をもち、将来、病院や福祉施設などの臨床栄養分野での活躍を目指す人。
4. 子どもの食育に関する専門知識および技術に関心をもち、将来、保育所・幼稚園の栄養士や小・中学校の栄養教諭などを目指す人。
5. 食品の調理、加工や機能性成分等に関する専門知識および技術に関心をもち、将来、給食現場および食品関連企業などでの活躍を目指す人。

本学科では、栄養学、食品学、調理学、解剖生理学等に関する多彩なカリキュラムが展開されていることから、以下のような観点で多様な入学者選抜を実施し、本学科との相性を総合的に判断していきます。

- (1) 知識・技能
高等学校の教育課程を幅広く学修し、学修に必要な基本的な知識・技能を有していること。また、栄養科学科で学ぶための基礎となる国語、英語、数学のほか、生物、化学などの基礎知識・技能を有していること。
- (2) 思考力・判断力・表現力
栄養指導を科学的かつ効果的に行うために、高等学校までに学修した知識・技能を活用し、さらに様々な見方・考え方を働かせて課題を自ら発見し、解決に向けて探求するための基本的な思考力・判断力を身につけ、考えや成果等を発信するための基本的な表現力を有していること。
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
栄養に関わる現場で活動するため、自ら主体的に行動するとともに、グループワーク等により他者と協力して問題解決を図る態度を有していること。

その他、高等学校での授業や課外活動、ボランティア活動等を通して、自分自身や周囲の人々の栄養に対する高い関心と指導・支援に関わる意欲を有していることも重要です。

本学科の入試において受験生に求める学修内容としては、以下の4つの観点で評価します。

1. 「国語、英語、数学および生物・化学の基礎的な知識」
2. 「栄養科学の基礎的な知識・技能」
3. 「思考力・判断力・表現力」
4. 「主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度」

■ こども健康・教育学科〈入学定員/60名〉

こども健康・教育学科は、『心身ともに健全な子どもを育てるための指導者・支援者として豊かな人間性と子どもの成長・発達に関する高度な専門知識を身につけ、人々の健康実現に寄与・貢献できる人間力の育成』を教育目標としています。

また、本学科は、保育士資格の他に幼稚園・小学校教諭および中学校教諭(保健体育)の免許取得課程を有する他、テーマパーク・出版・映像など子どもの創造性を育むアミューズメント事業に関わることを目指す学生に対して、こころとからだの発達、子どもを取り巻く社会や環境、子どもの文化、運動や栄養、という幅広い分野の基礎知識の獲得し、将来ある子どもに対して、科学的かつ効果的に指導・支援・制作等ができる高度な専門知識と実践力を身につけるための特色ある教育を展開しています。

そのため、こども健康・教育学科では強い目的意識のもとに次のような志のある人を求めています。

1. 乳・幼児期から児童期における子どもの成長・発達に関心をもち、将来、保育士・幼稚園および小学校の教員を目指す人。
2. 児童期から青少年期における子どもの成長・発達に関心をもち、将来、小学校および中学校(保健体育)の教員を目指す人。
3. 子どもの発育・発達に関心をもち、将来、地域における子どもの健康・体育・食育に関する指導者を目指す人。
4. 子どもの創造性を育むアミューズメント事業の企画・制作に関わり、将来、子どもの幅広い成長を支援する職業を目指す人。

本学科では、こども学、こころとからだ、社会と環境、遊び・文化・アミューズメント等に関する多彩なカリキュラムが展開されていることから、以下のような観点で多様な入学者選抜を実施し、本学科との相性を総合的に判断していきます。

- (1) 知識・技能
高等学校の教育課程を幅広く学修し、学修に必要な基本的な知識・技能を有していること。また、こども健康・教育学科で学ぶための基礎となる国語、英語、生物・化学および数学の基礎知識やその他の教科全般についての基礎知識・技能を有していること。
- (2) 思考力・判断力・表現力
子どもへの指導や支援等を科学的かつ効果的に行うために、高等学校までに学修した知識・技能を活用し、さらに様々な見方・考え方を働かせて課題を自ら発見し、解決に向けて探求するための基本的な思考力・判断力を身につけ、考えや成果等を発信するための基本的な表現力を有していること。
- (3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
子どもに関わる現場で活動するため、自ら主体的に行動するとともに、グループワーク等により他者と協力して問題解決を図る態度を有していること。また、将来のある子どもに対して、科学的かつ効果的に指導・支援・制作等の専門知識・技能を学ぶ姿勢・態度および心構えを有していること。

その他、高等学校での授業や課外活動、ボランティア活動等を通して、子ども自身や子どもを取り巻く環境に対する高い関心と指導・支援に関わる意欲を有していることも重要です。

本学科の入試において受験生に求める学修内容としては、以下の3つの観点で評価します。

1. 「国語、英語、数学および生物・化学の基礎的な知識」
2. 「思考力・判断力・表現力」
3. 「主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度」

■ 体育科学科〈入学定員/100名〉

体育科学科は、『健康の保持・増進を基礎とし、青少年期を中心とした競技スポーツ活動を安全で科学的にサポートするための指導者として豊かな人間性と高度な専門知識と実践力を身につけ、人々の健康実現に寄与できる人間力の育成』を教育目標としています。

そのため、体育科学科では、これらの教育目標を理解し、強い目的意識のもとに主体的に学び、次のような志のある人を求めています。

1. 競技スポーツ活動に関心をもち、安全で科学的に競技力の向上を図るための専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かなアスリートや指導者を目指す人。
2. 競技スポーツ選手の身体ケアやコンディショニング等に関心をもち、スポーツ選手をサポートするための専門的な知識と技能を身につけた人間力豊かな指導者を目指す人。
3. 学校体育に関心をもち、こどもたちの体育・スポーツ活動を安全・安心に指導するための専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かな指導者を目指す人。

本学科では、競技力の向上、スポーツ障害、体育実技指導等、競技スポーツ活動等に関する多彩なカリキュラムが展開されることから、以下のような観点で多様な入学者選抜を実施し、本学科との相性を総合的に判断していきます。

(1) 知識・技能

多様な人々とのコミュニケーションを通じて協働する際に必要となる国語、英語の基礎的な知識や、身体の構造や機能等を客観的に理解し分析する際に必要となる数学および生物・化学の基礎的な知識。また、競技スポーツ活動等に関する学修が学びの中心であるため、優れた保健体育の基礎的な知識や技能を有していること。

(2) 思考力・判断力・表現力

これまでに学修した知識・技能を活用し、本学科の学修の過程で様々な課題を自ら発見し、解決に向けて探求し、成果等を論理的に発信する際に必要となる、思考力・判断力および表現力を有していること。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

体育や課外活動で学んだチームワーク等を活用し、将来の目標を達成するために、自ら主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度を有していること。

その他、高等学校での授業や課外活動等を通して、競技スポーツ活動に対する高い関心と指導・支援に関わる意欲を有していることも重要です。

本学科の入試において受験生に求める学修内容としては、以下の5つの観点で評価します。

1. 「国語、英語、数学および生物・化学の基礎的な知識」
2. 「優れた保健体育の基礎的な知識・技能」
3. 「思考力・判断力・表現力」
4. 「主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度」
5. 「競技スポーツ活動に対する関心と意欲」

■ 健康スポーツ科学科〈入学定員/150名〉

健康スポーツ科学科は、『健康の保持・増進のための運動・スポーツの指導者として豊かな人間性と高度な専門知識を身につけ、すべての人々の健康実現に寄与・貢献できる人間力の育成』を教育目標としています。

また、本学科は、中学校や高等学校教諭（保健体育）の免許取得課程や健康運動・専門スポーツ等の各種指導者資格を取得する課程を有しています。これらの課程では、学校や各種施設および地域におけるスポーツ・健康運動等の指導・運営に関する高度な専門知識とともに、より効果的で科学的な指導を行うための実践力が身につくような特色ある教育を展開しています。

そのため、健康スポーツ科学科では強い目的意識のもとに次のような志のある人を求めています。

1. 学校体育や競技スポーツに関心をもち、将来、体育・スポーツの分野における専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かな指導者を目指す人。
2. 生涯を通じた健康の保持・増進や今日的な健康問題に関心をもち、将来、健康運動指導に関する専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かなエキスパートを目指す人。
3. 運動・スポーツ施設の運営や環境整備、メディア発信、イベント企画等に関心をもち、将来、運動・スポーツ活動を側面からサポートするための専門的な知識と実践力を身につけた人間力豊かなプロデューサーを目指す人。

本学科では、競技力の向上、健康運動、スポーツマネジメント、体育実技指導等に関する多彩なカリキュラムが展開されることから、以下のような観点で多様な入学者選抜を実施し、本学科との相性を総合的に判断していきます。

(1) 知識・技能

多様な人々とのコミュニケーションを通じて協働する際に必要となる国語、英語の基礎的な知識や、身体の構造や機能等を客観的に理解し分析する際に必要となる数学および生物・化学の基礎的な知識を有していること。また、健康運動、競技スポーツ、学校体育等に関する学修が学びの中心であるため、優れた保健体育の知識・技能を有していること。

(2) 思考力・判断力・表現力

これまでに学修した知識・技能を活用し、本学科の学修の過程で様々な課題を自ら発見し、解決に向けて探求し、成果等を論理的に発信する際に必要となる、思考力・判断力・表現力を有していること。

(3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

体育や課外活動で学んだチームワーク等を活用し、将来の目標を達成するために、自ら主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度を有していること。

その他、高等学校での授業や課外活動等を通して、健康運動、競技スポーツ、各種スポーツ大会の運営等に対する高い関心と指導・支援に関わる意欲を有していることも重要です。

本学科の入試において受験生に求める学修内容としては、以下の5つの観点で評価します。

1. 「国語、英語、数学および生物・化学の基礎的な知識」
2. 「優れた保健体育の知識・技能」
3. 「思考力・判断力・表現力」
4. 「主体的に行動し、さらに他者と協力して問題解決を図る態度」
5. 「健康スポーツ活動に対する関心と意欲」

第3年次編入学試験

2026年度に至学館大学の第3年次に編入学する学生を次のとおり募集します。

出願資格

次の(1)から(6)のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者または大学に2年以上在籍し、2026年3月31日までに62単位以上を修得または修得見込みの者。
 - (2) 短期大学を卒業または2026年3月卒業見込みの者。
 - (3) 高等専門学校を卒業または2026年3月卒業見込みの者。
 - (4) 高等学校(中等教育学校の後期課程および特別支援学校の高等部を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他の文部科学大臣の定める基準を満たす者に限る。)を修了した者または2026年3月修了見込みの者。(ただし学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
 - (5) 文部科学大臣の定める専修学校の専門課程を修了または2026年3月修了見込みの者で、大学入学資格を有する者。(専修学校の専門課程のうち文部科学大臣の定める基準:修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総合時間数が1700時間以上であること)
 - (6) その他、相当の年齢に達し、上記の者と同等以上の条件を満たすと本学が認めた者。
- ※なお、事前審査を受ける者は、出願開始日の2週間前に出願書類を提出すること。

編入学先と同系統の分野を専攻した者が望ましい。

また、編入学については、編入後2年間の教員免許状、管理栄養士国家試験受験資格などの取得が困難となる場合があります。詳細については、事前に入試・広報課(0562)46-8861(直)へお問い合わせください。

募集定員

健康科学部 体育科学科 若干名 健康スポーツ科学科 若干名
栄養科学科 欠員募集 こども健康・教育学科 欠員募集

※ 健康科学部 栄養科学科、こども健康・教育学科については、欠員募集となりますので、事前に入試・広報課(0562)46-8861(直)へお問い合わせください。

出願期間・入試日程・試験会場

出願期間	試験日	試験会場	合格発表	手続締切日
2025年 11/4(火) ~ 11/10(月)	11/15(土)	本学	12/1(月)	入学金: 12/5(金) 手続金: 12/19(金)

注1) 出願最終日消印有効。 注2) 可否の結果は、簡易書留速達郵便にて合格発表日に本人へ送付します。

選考方法

選考内容
書類審査、小論文、面接

試験時間割

入室時間	小論文	面接
9:10まで	9:30 ~ 10:30	10:45 ~

- (1) 試験当日は、午前9時10分までに入室してください。
- (2) 試験当日は、受験票、筆記用具を持参してください。
- (3) 面接を終えた受験者は順次帰宅してください。

入学検定料、出願書類、出願方法

(1) 入学検定料

35,000 円 出願期間内に金融機関から指定する振込先へ受験生の氏名で入学検定料を振り込んでください。

※ 入学検定料の振り込みの際に振込手数料が別途必要となります。ご利用の際は、振込依頼人様でご負担ください。

◆振込先 ミツビシユーエフジェイ 銀行名: 三菱UFJ銀行 金融機関コード: 0005 支店コード: 344 支店名: 大府支店
預金種目: 普通預金 口座番号: 409600
口座名義: 学校法人至学館(大学口) ガク シガクカン(ダイガクグチ)

※ 入学検定料の振り込みが確認できない場合は、受領書または払込証明書等で確認する場合がありますので大切に保管してください。振り込みの証明がないと判断した場合、出願が認められないことがあります。

(2) 出願書類

- ① 入学願書
・ 所定用紙「第3年次編入学 入学願書(I票)、写真票(II票)、受験票」に必要事項を記入してください。
・ 出願前3ヵ月以内に撮影した写真(上半身正面向き無背景、カラー枠なし縦4cm×横3cm)を用意して、写真票(II票)に貼付してください。
- ② 短期大学、高等専門学校の卒業証明書または卒業見込証明書(大学の卒業または在籍証明書、もしくは専修学校の修了証明書または修了見込証明書)
- ③ 短期大学、高等専門学校、大学もしくは専修学校の成績・単位修得証明書もしくは成績・単位修得見込証明書
- ④ 志望理由書
・ 所定用紙(A票)に本人直筆でそれぞれ800字以内で記入してください。
- ⑤ 課外活動または学内活動歴(体育科学科、健康スポーツ科学科を志望する方のみ必要)
・ 所定用紙(B票)に高等学校卒業後の活動歴を記入してください。
- ⑥ 返信用封筒
・ 長3封筒の表面に受験票在中封筒(表面)を貼付し、本人の住所・氏名・郵便番号を明記してください。
・ **760円分の切手を貼付してください。**

(3) 出願方法

- ① 角2封筒に送付用封筒(表面・裏面)を貼付し、出願封筒を準備してください。
- ② 送付用封筒(裏面)の記載書類を確認してください。
- ③ 出願書類の欠落、記入漏れや誤字・脱字について送付前にしっかりと確認してください。
- ④ **出願書類が全て揃ったことを確認したら、書類を折り曲げずに、送付用封筒に書類一式を封入し、簡易書留速達郵便で「入試・広報課」宛に送付してください(必ず個人単位で送付してください)。**
簡易書留受領書等は入試が終わるまで大切に保管してください。
なお、「入試・広報課」窓口へ提出も可(窓口受付時間9:00~17:00。ただし、土曜日・日曜日・祝日を除く)。
- ⑤ 出願できる学科は1学科とし、出願後の志望学科の変更は一切できません。
- ⑥ 出願書類中、一つでも不足や不備がある場合は受付できませんので、必ず書類の確認をしてから郵送してください。
- ⑦ 一度受理した出願書類および払い込まれた入学検定料は、いかなる理由があっても一切返還しません。

願書記入上の注意

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないでください。
- (2) 入学願書は必ず、黒ボールペンで枠内に丁寧に記入してください。
- (3) 記入時の文字の間違いは、修正テープや修正ペンを使用して、その上から修正してください。
- (4) ※印のところは記入しないでください。
- (5) 記入していただいた個人情報は本学の入学試験および入学手続のみに使用し、その他の目的には使用しません。

試験当日の注意事項

交通について

- ① 試験会場までの交通案内はP.5を参照してください。
- ② 天候等による交通機関への影響に十分留意し、遅刻のないように注意してください。
- ③ 公共交通機関の遅延によって試験に遅れる場合は、遅延証明書をお持ちください。
- ④ 本学には駐車場がありません。また道路の渋滞による遅刻の可能性も考えられますので、自家用車の利用はご遠慮ください。

持参する物

- 受験票** ・受験票を忘れたり、紛失したり、または受験に向かうまでに受験票が届かなかった場合は、試験当日、各試験会場の係員に申し出て、仮受験票の発行を受けてください。
- 筆記用具** ・HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック消しゴム。 下敷き、定規、コンパス、電卓、辞書等の使用は認めません。
- マスク** ・マスク着用の判断は各自にお任せします。写真照合の際に、監督者の指示によりマスクを一時的に外していただきます。
- 時計** ・時計以外の機能が付いたものの使用は認めません。また、携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することもできません。

試験室への案内

- ① 試験室への案内は、掲示・受験案内・係員の誘導などにより行います。
- ② 試験開始20分前までに所定の試験室へ入室し、座席に着くようにしてください。

受験上の注意事項

- ① 遅刻は、試験開始後20分以内を限度に入室を認めます。なお、公共交通機関の遅延の場合は、遅延証明書をお持ちください。
- ② 試験室では、受験番号と机上の番号を確認し、机上に受験票を表向きに置き着席してください。
- ③ 志願者以外の者が志願者本人になりすまして受験することは不正行為にあたり、当該受験は無効になります。
- ④ 面接については、試験当日担当者より指示します。
- ⑤ 解答用紙の受験番号が無記入・誤記入の場合は無効となります。
- ⑥ 試験中は、原則として途中退場は認めません。ただし、試験中に体調が悪くなった場合は、すぐに試験監督者に申し出てください。
- ⑦ 携帯電話等の機器については、試験会場内での使用を禁止しますので、必ず電源を切ってください。
- ⑧ ケガ・病気等で通常の試験室での受験に支障がある方は、事前に下記まで連絡してください。

至学館大学 入試・広報課 TEL:0562-46-8861〈直通〉

本学の入学者選抜の対応について

この募集要項の記載内容から変更が生じる場合がありますので、本学ホームページ(受験生応援サイト)にて必ずご確認ください。
ホームページは随時更新しますので、最新の情報をご確認ください。

受験者へのお願い

- (1) 受験に備えて、各自で以下のような体調管理を行ってください。
 - ・発熱・咳等の症状がある場合は、医療機関での受診を行う。
 - ・咳エチケットの徹底、身体的距離の確保等を行う。
- (2) 試験会場の下見については、試験前日の午後より認めますが、試験室内への立ち入りはできません。
- (3) 体調不良の場合
 1. 試験当日の検温により、38.0度以上の熱がある方は受験ができませんので、あらかじめご了承ください。
 2. 試験当日に、38.0度までの熱はないものの発熱や咳等の症状のある場合や体調不良の場合は、試験会場にて速やかに試験監督者、スタッフ等にお知らせください。
- (4) 休憩時間等の他の受験者との接触・会話は、極力控えるようご協力ください。

試験実施における本学の対応

- (1) 試験監督者・スタッフ等は、日頃から体調管理に努め、体調不良者を当日業務に携わらせることのないようにします。
- (2) 試験場入口・試験室では手指消毒用の消毒液を設置します。
- (3) 試験は、試験室の座席間の距離を十分に確保して行います。
- (4) 発熱(38.0度未満)・咳等の体調不良者については、体調不良者用の別室での受験とする予定です。

特別措置および身体に障がいがある方への修学相談

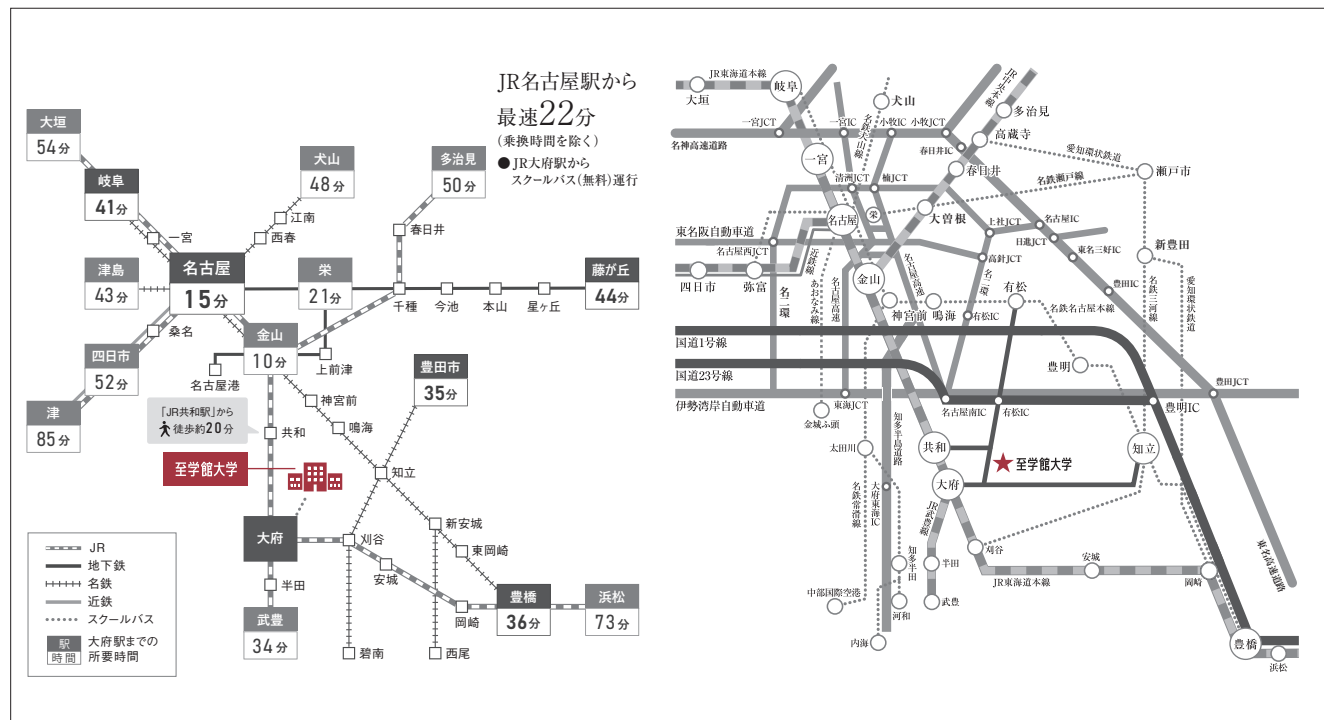
- (1) 疾病・負傷や身体に障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明を行うための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。出願を希望されている方は、出願開始日の2週間前までに必ず入試・広報課までお申し出ください。受験に際して特別措置を講ずることがあります。事前にお申し出の無い場合は、受験に際して配慮ができない場合がありますのでご了承ください。
なお、障がいの状況によっては、修学が困難な場合もありますので、併せてお問い合わせください。受験上および修学上の相談については、随時受け付けています。
- (2) 出願後の不慮の事故等による負傷者、疾病者が受験時に特別措置を要する場合には、速やかに入試・広報課にお申し出ください。
受験に際して特別措置を講ずることがあります。

お問い合わせ先：至学館大学 入試・広報課 TEL0562-46-8861〈直通〉

試験会場および交通案内・宿泊について

試験会場案内

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55 電話:(0562)46-8861(入試・広報課直通)



試験当日の交通案内

スクールバス (無料)

- ・運行時刻等は、受験票とともに送付する「受験案内」に記載してあります。
- ・本学には駐車スペースがありませんので公共交通機関を利用してください。
- ・スクールバスのりばは右図をご覧ください。



本学会場行き スクールバスのりば
JR大府駅(東口)
発着時刻は、個別に送付される「受験案内」を参照

受験生の宿泊について

[本学試験会場用]

宿泊をご希望の方は、本学に近い以下のホテルが便利です。下記へ直接お申し込みください。

ホテル	電話番号
アズイン大府	(0562)46-1313
ステーション・イン・大府	(0562)44-4000

ホテル	電話番号
あいち健康の森プラザホテル	(0562)82-0235
刈谷プラザホテル	(0566)24-3711

入学手続

入学手続に関する注意

入学手続については、合格通知書に同封する「入学手続要項」に従って行ってください。

(1) 合格者は、所定の期日までに下記の学費を納入してください。

期日までに納入されない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 入学手続に必要な書類等(誓約・保証書、住民票、卒業証明書、成績・単位修得証明書、個人情報取り扱いに関する同意書、写真2枚)は、本学より別途送付する手続案内に従って指定する期日までに提出してください。

(3) 一度納入した学費は、理由のいかんにかかわらず一切返還しません。

ただし、「入学辞退届(指定様式)」を所定の期日(2026年3月31日(火)17:00)までに提出(必着)した場合、入学金以外の学費を返還します。

学費一覧表(2026年度予定)

単位:円

内訳		学部・学科	栄養科学科	こども健康・教育学科	栄養科学科	健康スポーツ科学科
前期分 (入学手続時)	入学金		200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料		350,000	350,000	350,000	350,000
	教育充実費		220,000	220,000	220,000	220,000
	実験実習費		35,000	25,000	35,000	35,000
	小計(入学手続時)		805,000	795,000	805,000	805,000
後期分	授業料		350,000	350,000	350,000	350,000
	教育充実費		220,000	220,000	220,000	220,000
	実験実習費		35,000	25,000	35,000	35,000
	小計		605,000	595,000	605,000	605,000
合計(年額)			1,410,000	1,390,000	1,410,000	1,410,000
4年次納入金額(年額)			1,200,000	1,190,000	1,200,000	1,200,000

※上記金額の他に、委託徴収費が必要になります。

・学生会費(9,000円(初年度入会金2,000円含む)) ・教育後援会費(12,000円) ・同窓会入会金(10,000円)

※以下の課程履修費は、履修登録時に必要になります。

・教職課程履修費(30,000円) ・管理栄養士養成課程履修費(12,000円) ・保育士養成課程履修費(50,000円)

※その他、必要な費用として卒業記念品代(2,000円)、同窓会費(12,000円)を徴収します。

※後期分については、入学後10月末日が納入期日になっています。

※至学館大学から編入学する者については、入学金を免除します。

個人情報の取り扱いについて

(1) 入学願書等に記入された住所、氏名、出身校、その他個人情報については、以下の発送に利用します。

・受験案内および受験票 ・合否結果通知 ・入学手続者への各種案内

(2) 発送については、本学が責任を持って行います。(委託をしております)

(3) その他、入学後における指導上の参考資料の送付や個人を特定しない統計処理に利用することがありますので、あらかじめご了承ください。



<https://navi.sgk-u.net>
E-mail: info-inv@sgk.ac.jp

<出願・お問い合わせ先> 入試・広報課
〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55
TEL 0562-46-8861 (直) 土・日・祝休み
FAX 0562-44-0310

